

2015年2月13日
株式会社博報堂 広報室

“教育”をテーマにしたマルチステークホルダープロジェクト 「未来教育会議」シンポジウム開催のお知らせ

2015年3月7日(土) 13:00～慶應義塾大学日吉キャンパスにて



未来教育会議

博報堂は2014年2月3日より、未来の社会と子ども、教育のあり方を多様なステークホルダーと共に考えるプロジェクト「未来教育会議」(代表：熊平美香 事務局：博報堂)を発足いたしました※1。このたび「家庭、学校、地域、社会のつながりー子どもたちを幸せにする社会と教育づくりへの挑戦ー」をテーマに、「未来教育会議シンポジウム2015」を2015年3月7日(土)に開催いたします。

「未来教育会議」は子どもの幸せな未来を願うステークホルダー(生活者、企業、NPO法人、学校関係者、地域、行政、自治体など)が集い、これからの社会、人、教育のあり方を全体システムで捉え、思考を深める“マルチステークホルダープロジェクト”です。一組織だけでは解決できない問題をシステム全体で理解し、問題点を見極め、解決策を多くのステークホルダーと共に見出していきます。※2

当日は、未来教育会議実行委員会よりプロジェクト発足以来の活動のご報告(日本、オランダ、デンマークの計40カ所を訪問したスタディツアーの内容や、2030年の未来の社会と教育シナリオ)や今後の活動の展開をお話しさせていただくほか、先駆的な取り組みを行う教育事業者様(NPO法人、学校関係者、企業など)のプレゼンテーション、参加者の皆さまとより深く対話を深めるテーマ別セッションのプログラムを予定しております。2030年の未来シナリオを味わいながら、家庭、学校、地域、社会のつながりによる教育が何を生み出すのかを、多様な視点から探求していきたいと思っております。当シンポジウムは、誰もが教育について他責にせず、自らが主体的に考え、相互に意義を感じられる場として、参加者の皆さまが次なるアクションをおこすきっかけを生み出すことを目指してまいります。

参加を希望される方は「未来教育会議」公式HPよりお申し込み下さい。

<http://miraikk.jp/cat-03/772/>

※1 『博報堂、“教育”をテーマに対話し、新たな事業モデルを創出する 新プロジェクト「未来教育会議」を発足、参加企業を募集開始』
<http://www.hakuhodo.co.jp/archives/newsrelease/16023> (2014年2月3日ニュースリリース配信)

※2 『マルチステークホルダー“乗り合い型”価値創造プログラム「bemo(ベモ)」、提供開始』
<http://www.hakuhodo.co.jp/archives/newsrelease/579> (2011年8月10日ニュースリリース配信)

【開催概要】

未来教育会議シンポジウム 2015

「家庭、学校、地域、社会のつながりー子どもたちを幸せにする社会と教育づくりへの挑戦ー」

※講演テーマは仮です。尚、登壇者は都合により変更の可能性があります。

○日時：2015年3月7日（土）13:00～18:30

○場所：慶應義塾大学 日吉キャンパス独立館

〒223-8521 神奈川県横浜市港北区日吉 4-1-1

日吉駅徒歩1分（東急東横線、東急目黒線、横浜市営地下鉄グリーンライン）

（慶應義塾大学 HP）<http://www.keio.ac.jp/ja/access/hiyoshi.html>

○共催：未来教育会議実行委員会 慶應義塾大学SDM研究所ソーシャルデザインセンター

○参加者：

企業、学校関係者、地域、行政、自治体、NPO、市民、学生など、教育に関心のあるみなさま

○定員：350名

○参加費：無料

【第一部：「未来教育会議」活動のご報告】

13:00-13:10 開会式／代表挨拶

熊平 美香

13:10-14:50 未来教育会議の活動報告

未来教育会議実行委員会

ー日本、オランダ、デンマークのスタディツアーから見えること

ー2030年 未来の社会・教育シナリオから見えること

（14:50-15:00 休憩）

【第二部：プレゼンテーション】 「つながりは、何を生みだすだろうか」

15:00-15:30 「格差をなくす」ードロップアウトをつくらない教育の実現ー

特定非営利活動法人 Learning For All 代表理事 李 炯植氏 / 事務局長 上野 聡太氏

15:30-16:00 「コミュニティの活力を生み出す」

ー学校・家庭・地域・行政の連携・協働の推進と要としてのコーディネーター制度ー
雲南市教育委員会 教育長 土江 博昭氏

16:00-16:30 「未来を創りだす」ーサステナブルな社会の実現ー

アショカジャパン創設者 代表理事 渡邊 奈々氏

（16:30-16:55 休憩・移動）

【第三部：テーマ別セッション】

16:55-18:00

【格差の解消】

セッション1 「すべての子どもたちに学習機会を」

特定非営利活動法人 Learning For All 代表理事 李 炯植氏 / 事務局長 上野 聡太氏

【地域との連携】

セッション2 「コーディネーターの果たす役割」

文部科学省生涯学習政策局社会教育課公民館振興係 錦織 慎司氏

セッション3 「地域の課題をリアルに扱う教育—海士町の取組から—」

島根県隠岐島前高校魅力化プロジェクト 教育ディレクター 藤岡 慎二氏

【21世紀の企業】

セッション4 「21世紀の教育とパラダイムシフト」

アショカジャパン創設者 代表理事 渡邊 奈々氏

セッション5 「企業が教育に関わる意味—クエストエデュケーションの取組から—」

大和ハウス工業株式会社 CSR部 社会責任グループ 小川 泰史氏

東京都立芦花高等学校 教諭 秋本 嘉一氏 / クエストに取り組んだ生徒

セッション6 「公教育と社会をつなげる」

横浜市立市ケ尾中学校 校長 平川 理恵氏

【日本のこころの教育】

セッション7 「21世紀教育につながる日本らしさ」

一燈園・燈影学園 学園長 相 大二郎氏

【世界の先端教育】

セッション8 「オランダ、デンマークにみる幸せな社会と教育のあり方」

未来教育会議実行委員会

18:00-18:15 移動

18:15-18:30 これからに向けて…来期の未来教育会議の活動・リフレクション

【ご参考】未来教育会議について

未来の社会、未来の人、未来の教育のあり方を、多様なマルチステークホルダーで共に考え、共に豊かな現実を創造していくためのプロジェクトです。

◆公式HP：<http://miraikk.jp/>

◆Facebook ページ：<https://www.facebook.com/miraikyouiku>

◆過去のお知らせ

『博報堂、“教育”をテーマに対話し、新たな事業モデルを創出する 新プロジェクト「未来教育会議」を発足、参加企業を募集開始』

(2014年2月3日) <http://www.hakuhodo.co.jp/archives/newsrelease/16023>

“教育”をテーマにした新プロジェクト「未来教育会議」 キックオフ・シンポジウム&ワークショップ開催のお知らせ

(2014年2月26日) <http://www.hakuhodo.co.jp/archives/newsrelease/16023>

“教育”をテーマにしたプロジェクト「未来教育会議」 佐賀県武雄市立武内小学校にて「ピースフルスクールプログラム」のパイロット導入

を開始(2014年7月31日) <http://www.hakuhodo.co.jp/archives/reporttopics/18051>

